

シャットダウンボックス VMware vSphere対応バージョン一覧

2025/9/24

VMware vSphereバージョン	対応UPSS-SDB02バージョン	対応UPSS-SDB03バージョン	対応UPSS-SDB04バージョン
VMware vSphere 4.1	Ver.3.40以降	Ver.1.0.0以降	Ver.1.0.0以降
VMware vSphere 5.0、5.0 U1			
VMware vSphere 5.0 U2、5.0 U3	Ver.3.48で確認		
VMware vSphere 5.1、5.1 U1、5.1 U2、5.1 U3			
VMware vSphere 5.5、5.5 U1、5.5 U2、5.5 U3	Ver.3.49で確認		
VMware vSphere 6.0、6.0 U1、6.0 U2、6.0 U3	Ver.3.60以降		
VMware vSphere 6.5、6.5 U1、6.5 U2、6.5 U3			
VMware vSphere 6.7、6.7 U1、6.7 U2、6.7 U3	対応不可 ※2		
VMware vSphere 7.0、7.0 U1、7.0 U2、7.0 U3 ※1 ※3			
VMware vSphere 8.0、8.0 U1、8.0 U2 ※1 ※3			
VMware vSphere 8.0 U3 ※1 ※4			
VMware vSphere 9.0（vCLSモードをシステム管理に設定時） ※1 ※5		Ver.1.2.9以降	Ver.1.0.3以降
VMware vSphere 9.0（vCLSモードを退避モードに設定時） ※1		Ver.1.0.0以降	Ver.1.0.0以降

- VMware HA構成、DRS使用構成にも対応しています。
- vCenterは仮想・物理どちらでもVMware構成の停止・起動が可能です。 VCSA（VMware vCenter Server Appliance）も対応しています。
- ESXi7.0以降のvSAN環境/VxRail停止起動及び、Reboot Helperと連携したシャットダウン・自動起動に対応しています。
- ご利用バージョンが対応バージョン未満の場合には、弊社へお問合せください。

※1 vSphere7から追加された「vSphere with Kubernetes」によるコンテナ環境のシャットダウンは未検証となります。
事前検証が必要となるため、弊社営業までご相談をお願いします。
またvSAN ファイル サービス（File Service）には対応しておりません。

※2 VMware vSphere Hypervisor (ESXi) 6.7以降はUPSS-SDB02-Vでは対応できません。
最新モデルのUPSS-SDB04へのハードウェアアップデート(有償)をご検討ください。

※3 VMware vCenter 7.0U1～8.0U2の(外部)vCLS機能にも対応しています。

※4 ※3の(外部)vCLS機能に加え VMware vCenter 8.0U3以降の(組み込み)vCLS機能にも対応しています。

※5 ※VMware vSphere 9.0以降ではvCLSモードのシステム管理への設定は非推奨となります。